



第2回総会 報告書



未来を担う子どもたちのために
“育てよう 生きる力” “とどけよう 笑顔と元気”

日時:平成25年1月26日(土) 14:00~18:30
於:東京都港区 笹川記念会館 国際会議場

第2回総会をおえて

B&G全国指導者会 会長
青森県南部町長 工藤 祐直
(第11期ADAQインストラクター)



第2回B&G全国指導者会におかれましては、多くの方々にご参加いただき盛会のうちに開催することができました。これも梶田会長をはじめとするB&G財団、モーターボート関係者、ご来賓の皆さま、情熱を胸にご講演いただいた小松一憲様、そして、全国各地からご出席いただいた指導者のおかげであると深く感謝いたしております。

議案におかれましてもご承認いただいたことに責任を感じるとともに、今後の活動計画を基に17,000人の指導者がもつ知識と技術をいかに地域社会の中で活かしていくかを思案し、実践につなげていけるよう精進してまいります。

また、当日は「未来を担う子どもたちのために“育てよう 生きる力”“とどけよう 笑顔と元気”」をテーマとして様々な発表をさせていただきましたが、何よりも参加して下さった皆様の気持ちが一つになりましたことに、当会役員一同、本当に嬉しく感じております。

設立総会からの3年間で多くの地域指導者会が新たに設置され、全国10ブロックから活動事例発表があったように水の事故ゼロ運動をはじめとする指導者会活動も活発になってきております。

全国指導者会としては、今後もより多くの地域で自然体験活動や水辺の安全教育を展開するため、地域指導者会100%の設置を目指します。

今後も、「未来を担う子どもたちのために“育てよう 生きる力”“とどけよう 笑顔と元気”」の気持ちを一つに指導者会の絆を深め、地域に役立つ指導者会を目指して邁進してまいります。



B&G全国指導者会 副会長
埼玉県久喜市栗橋 川島 正光
(第19期ADAQインストラクター)



第2期目を迎え、本会の確固たる地位の確立と更なる飛躍、事業の推進その責務の重さにあらためて身の引きしまる思いであります。

今回の第2回総会には、全国から志を同じくするB&G指導員が500名を超え参集していただきありがとうございました。特に遠方より自費で参加した指導者には心から敬意を表するしだいです。

とかく海洋センター勤務を離れてしまうと、B&G愛というかB&G魂が薄れてしまいがちですが、本会総会に参加していただく気持ちと行動力に感激いたしました。また、総会会場では、横断幕やのぼり旗が数多く掲げられ、ブロック連絡協議会や道府県連絡協議会さらに研修同期から、大きな声援と歓声が上がるなど、各地域でのB&G指導員としての絆の強さを実感いたしました。

本総会も各ブロック責任者会議において約1年間をかけ協議・検討し開催することができました。できるだけ多くの指導者にご登壇いただくことで、私たちの目指すべき本趣旨と、同志としての心意気の再確認ができるのではないか、という提案のもと企画したものです。各褒賞を受賞された皆さん、事例発表されたブロック代表の方々本当にありがとうございました。

今後も、本会総会でご議決いただいた活動方針・目標の実現の向け、全国指導者シンボル旗のもと、皆さんの熱き思いと行動力で、未来を担う子どもたちのため、「育てよう 生きる力」「とどけよう 笑顔と元気」の全国展開を推進していきましょう。

さて、結びに本会総会は3年に1回の開催です。仲間とともに誓い合ったB&G魂にさらなる情熱を注ぐ機会でもあります。また今回の総会後もそれぞれ研修同期等で大いに盛り上がり、旧交を温めあったこと存じます。ぜひB&G全国指導者会総会後は同期会開催年として定着させていただきたいと思います。

まだまだ力不足の私ですが、工藤会長・金久副会長とともに本会の更なる発展のため微力ながら邁進してまいりますので、皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。



**B&G全国指導者会 副会長
徳島県阿南市 金久 博
(第7期ADAQインストラクター)**



総会を終えて改めて思えたことは、平成22年1月に全国の指導者に“指導者としての熱い火”が燃え上がり、大きな期待や希望を胸にスタートして早や3年、221の地域指導者会が増え344全体の72%に、水辺の安全教室参加者数も3年間で延べ11万人を数え、県・ブロックでの指導者レベルアップ研修も年1回の定着、情報発信の「かわら版」も第5号まで発行、また飛躍的に全国のネットワーク構築が進むなど、確実に活動実践の輪が広がっていると確信を持てたことであります。

それは、10ブロックの活動事例発表でも見てとれます。

この度の総会は、これからも全国の指導者がそれぞれの立場に関わり、責任と礼節、知識と知恵、情熱と行動力を見せ、その地域で団結しながら“継続と更なる進展”を目指すべく、次の3年間のスタートの日となったものと思います。私も副会長として“今後3年間で躍進躍動する1000日”として、「活動目標の一つ一つを丁寧に達成していくために小さな実践を積み重ねる」ことを心に、全国のブロック責任者、道府県責任者と連携しながら、皆様とともに頑張るつもりです。

厳粛な中にも指導者会総会という一面を醸し出し、にぎにぎしく盛り上がり、最後には、天を突く拳、国際ホール内に響き渡る熱い団結・奮起のコール（連呼）、割れんばかりの盛大な拍手のうちに総会を終え、私も興奮を覚えましたし、緊張の中にもこれから新たにスタートする“力”を頂きました。そのあと遠方より来られた仲間と肩を抱き合い、和やかに親しく交流する懇談会が持たれ、皆様の3年間の努力と懐かしみの友との“絆”がより強くなった瞬間ではなかったでしょうか。

そして、「再会の約束」のもとに盛会裡に終了出来たことは、全国の指導者の皆様、多くのご来賓、講師、会館スタッフの皆様、そして全国の指導者のリーダーであるB&G 財団役職員の皆様方の格別のご努力であり、心から感謝いたしますとともに、皆様との再会を楽しみにしたいと思います。ありがとうございました。



当日のスケジュール

第2 回総会

14:00 ～ 笹川記念会館 2F 国際会議場

1. オープニング
2. 開会宣言
3. 主催者挨拶
 - B&G 財団 会長 梶田 功
 - B&G 全国指導者会 会長 工藤 祐直
4. 来賓祝辞
 - B&G 全国サミット 会長 新潟県胎内市長 吉田 和夫 様
 - B&G 全国教育長会議 会長 栃木県那須烏山市教育長 池澤 進 様
 - B&G 財団 評議員 岸 ユキ 様
5. 応援メッセージ
 - B&G 財団 理事 重 由美子 様
 - B&G 財団 理事 中村 真衣 様
6. 来賓紹介・祝電披露
7. 全国指導者会 議案審議および諸報告
 - 報告事項 3 年間の事業報告・規則の一部改正について
 - 議案1 役員の選任について
 - 議案2 今後の活動方針・活動目標【案】の承認について
8. 「優良指導員」ならびに「優良指導者会」褒賞
9. 感謝状贈呈
10. シンボルマーク 優秀作品表彰
11. B&G 指導員・指導者会の必要性和ウォーターセーフティーニッポンの活動について
 - B&G 財団理事長／ WSN 代表幹事 広渡 英治
12. 基調講演「B&G 指導員に期待すること」
 - ロンドン五輪セーリング日本代表コーチ 小松 一憲 氏
13. 指導者会事例発表 ～全国10ブロック代表～
14. 閉会

交流会

17:30 ～ 笹川記念会館 4F

フォトレポート

1. 黙祷（13:53）

開会に先立ち、東日本大震災で被災したB&G 指導員をはじめ、多くの方々のご冥福を祈り、黙祷が捧げられた。



2. 会旗入場・開会宣言（14:00）

全国 10 ブロックのブロック責任者 10 名が、今回新たに製作したブロック旗を手に入場。

最後に、金久副会長が、シンボル旗をもって入場し、川島副会長より、「第 2 回全国指導者会総会」の開会が声高らかに宣言された。



3. 主催者挨拶（14:02）

主催者を代表し、B&G 財団会長 梶田功、B&G 全国指導者会会長で、第 11 期 ADAQ インストラクターでもある青森県南部町長 工藤 祐直より開会挨拶。

「青少年の健全育成」や「地域住民の健康づくり」を目的とした、B&G 指導員の日頃の尽力に対して敬意を表するとともに、未来を担う子ども達のために、更なる連携協力と事業推進と、全国 17,000 人の B&G 指導員の一致団結を呼びかけた。



4. 来賓祝辞（14:14）

B&G 全国教育長会議会長 栃木県那須烏山市教育長の池澤進様、および女優で B&G 財団評議員の岸ユキ様より来賓祝辞を頂いた。同じく祝辞を頂く予定であった B&G 全国サミット会長で B&G 評議員である新潟県胎内市長の吉田和夫様は、雪の影響により、急遽欠席となった。



**B & G全国教育長会議 会長
栃木県那須烏山市教育長 池澤 進 様**
「日本の子ども達が夢半ばで挫折したり、水の事故で命を落とすことがないように、是非、指導員の皆さまのお力をお借りしたい」



B & G評議員 / 女優 岸 ユキ 様
「B & Gは今の世の中でやらなければいけないことを実際に実行していて素晴らしい。沖縄の研修で培った皆さんの強さを、地元でも存分に活かして、これからも活躍してください」

5. 応援メッセージ（14:20）

沖縄県本部町で毎年開催される B&G 指導者養成研修に、講師としてご協力頂いている一流アスリートの方々から、全国の B&G 指導員に応援メッセージが送られた。

アトランタ五輪ヨット 470 級銀メダリストの重由美子様は、全国随一の利用者人数を誇る B&G 虹の松原海洋クラブにおいて、今なお現場指導を続ける。現代の子ども達への指導の難しさ、親との関わり方など、同じ指導者の目線でエールを送った。

シドニー五輪女子背泳ぎ銀メダリストの中村真衣様は、応援団長として被災地の子ども達を率いてロンドン五輪に行った経験を挙げながら、スポーツが子どもに与える多大な影響力と指導者の重要性を改めて語りかけた。



**アトランタ五輪ヨット銀メダリスト
B & G財団理事 重 由美子 様**
「国が豊かになり、礼と節の心が薄れている今こそ、B & G指導員の出番です。子ども達から心を込めてありがたいと言ってもらえるその瞬間を思い描きながら、B & G指導員として、一緒に頑張りましょう」



**シドニー五輪水泳銀メダリスト
B & G財団理事 中村 真衣 様**
「がんばる意味を見失ってしまった被災地の子ども達に、再び生きるための目標を与えたのは、ロンドン五輪そしてスポーツでした。スポーツとそれに関わる指導者は、子どもに多大な影響を与えるのです」

6. 全国指導者会 議案審議および諸報告 (14:27)

設立から3年間の事業報告や決算報告が行われたほか、正副会長の選任、次期ブロック責任者が紹介された。

次回、第3回総会までの3年間を任期とした新体制が正式にスタートした。



7. 「優良指導員」ならびに「優良指導者会」褒賞 (15:07)

海洋センターに概ね10年以上勤務し、かつ海洋センター・海洋クラブの活動・指導に概ね10年以上携わる者を対象に各ブロックから推薦され、最終的に「B&G財団審査委員会」において、11名がゴールド褒賞、24名がシルバー褒賞として決定した。ゴールド褒賞者にはエンブレム付のジャケットと表彰状が贈られた。



今年80歳を迎え、今なお指導現場で活躍する山口県周防大島町 中谷指導員には、中国ブロックからも熱い声援が送られた。

また、特に顕著な活動を行っているB&G地域指導者会が5団体褒賞され、海洋性レクリエーション活動に役立つキャスター付クーラーボックス(指導者会ロゴ入り)が贈呈された。



8. 感謝状贈呈（15:22）

今回の総会をもって退任となった、四国ブロック責任者 三谷 二三男氏、北九州ブロック責任者 進 友雄氏、南九州ブロック責任者 椎葉 泰裕氏に対し、全国指導者会の設立準備から立ち上げ、地域指導者会設置率 100%を目指した取り組みへの多大な功績を称え、工藤会長から感謝状が授与された。



9. シンボルマーク優秀作品表彰（15:27）

全国から応募があった 66 作品の中から、第 3 次審査を経て、最終的に財団役員ならびにブロック責任者による決選投票が行われた結果、埼玉県久喜市栗橋 B&G 海洋センター 松田氏の作品が、B&G 全国指導者会シンボルマークに正式決定。

最優秀作品をデザインした松田氏には、工藤会長から、表彰状、賞金および地元、青森県南部町の特産品が贈られた。



また、最終選考に残った 2 名の作品も優秀賞として表彰し、川島副会長、金久副会長より、地元の特産品が贈られた。



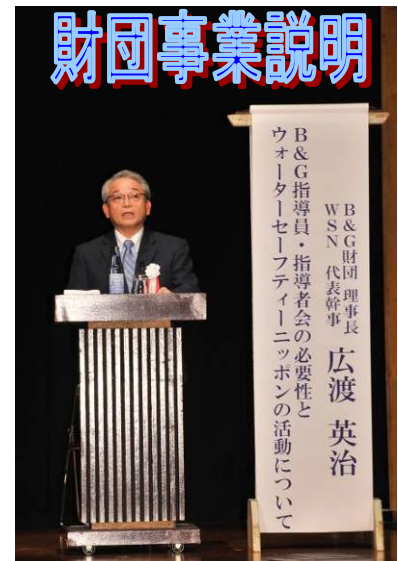
最優秀作品



10. B&G 指導員・指導者会の必要性和 WSN の活動について (15:27)

B&G 財団理事長で、WSN の代表幹事でもある広渡英治より、「B&G プランの推進には B&G 指導員が必要不可欠であること」、「定期的な研修や情報共有の重要性」などについて説明し、指導員として更なる資質向上に努めるよう呼びかけた。

また、平成 25 年度中の「指導者会 100%設置」を目指した取組みと「水の事故ゼロ運動」への更なる協力を要請した。



11. 基調講演 (16:05)

B&G 指導者養成研修でも講師として協力を頂き、ロンドン五輪セーリング日本代表コーチで、B&G 財団テクニカルアドバイザーにも就任頂いている小松一憲様より、「B&G 指導員に期待すること」と題した基調講演を頂いた。

今回の講演は、沖縄研修中に直接指導を受けた指導員たちからの強い要望により実現されたもので、参加者の所感からも、「常に謙虚であること」、「情熱を持って、懇切丁寧に教えてくださること」、「研修生に敬意を持って接してくださること」により獲得している小松先生のその信頼感の高さが伺えた。

選手として 4 度、監督・コーチとして 3 度のオリンピックに出場している経験を基に、指導員としての心構えや磨くべき感性、初心者や子どもに「ヨットの楽しさ」を教える上で注意して欲しい事項、効果的な練習方法等に対する「探究心」など、現場の指導者には大変有意義となる講演内容であり、最後には「海洋センターが全国の楽しさの発信源になること」への期待を述べられた。



基調講演 参加者所感(一部抜粋)

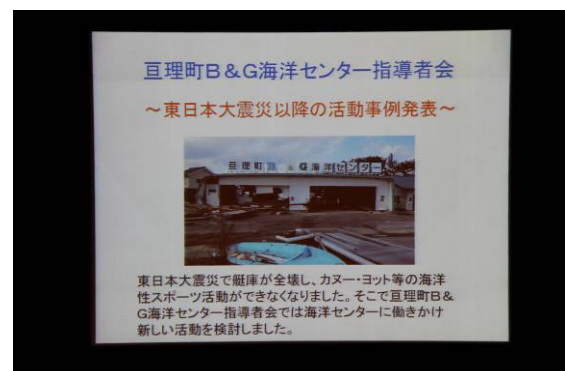
- ・子供たちに夢と希望を与えることは、初めて出会った指導者で決まる。
ヨットに限らず、何かを始める時に、いかに楽しく、またやりたいと思わせる環境づくり及び指導方法がいかに大切か、あらためて指導者としての心構えを認識させられた素晴らしい内容の講演だった。
- ・小松先生の温厚で優しい口調でのご講演は、まさしく洋上での先生の指導手法と同じで、「怒らずにまずは好きになってもらう」「研修生から元気をもらう」「蓄積された経験から指導のアイデアが浮かぶ」など、初心者の子どもたちを指導する私たちB & G指導員には貴重な内容で、指導者として見習わなければと痛感した。
- ・小松先生の表情、言葉の一つ一つから「ヨットを好きになってほしい」という強い思いが伝わってきて、その真っ直ぐな情熱に心打たれ感動した。
私たちも現場で子どもたちに同じように感動してもらえる、熱い指導者を目指したいと決意を新たにした。
- ・地元の子どもたちに指導する際には、子どもたちが興味を示し、体験することから生まれる楽しさなどを全面に出して、笑顔で元気な現場の雰囲気づくりが大切だと改めて感じた。
- ・「指導者として、毎年同じ内容を指導するのではなく、指導する側も成長を続けて行く」という姿勢がとても大事だと感じた。

12. 地域指導者会事例発表 (16:35)

全国 10 ブロックを代表し、地域指導者会から先進事例が紹介された。

地元で活発な活動が続ける指導者会の活動事例や、ブロック内の複数の指導者会で連携・協力体制を構築し、より広域的に、多くの人々へ、B&G や WSN の活動を周知できるという活動事例など、先進的で、参考となる取り組みが発表された。

東北ブロックからは、宮城県亶理町指導者会代表 佐々木氏が発表。東日本大震災で被災した住民の笑顔を取り戻すために、「B&G 指導員として何ができるのか」、皆で知恵を出し合い、「転倒寝たきり予防プログラム」を活用した地域貢献を図っている様子に、全国の指導者からはたくさんの賛辞が送られた。





13. 閉会（17:20）

閉会にあたり、平成 27 年 1 月に予定されている「第 3 回全国指導者会総会」までの活動方針・活動目標が再度確認され、“育てよう 生きる力”“とどけよう笑顔と元気”というスローガンのもとに、今後の更なる連携協力を約束した。

最後には、金久副会長の熱い声掛けにより、出席者全員で「がんばろう」との力強いシュプレヒコールが行われ、第 2 回総会は、盛会裏に幕を閉じた。



14. 交流会（17:30）

笹川記念会館 4 階に会場を移し、交流会が行われた。

開会挨拶として、B&G 財団会長 梶田功、B&G 全国指導者会会長 工藤祐直より挨拶をしたのち、岸ユキ様より乾杯のご発声を頂いた。また、第 5 期 ADAQ インストラクターで、現在は北海道小平町の副町長である板垣 良二 様からも、激励メッセージを頂いた。



梶田会長挨拶



工藤会長挨拶



岸ユキ様による乾杯



板垣副町長の激励メッセージ

歓談中、研修期毎に、担当教官や講師の方々を交えた「記念撮影」。期別では、最多の 40 名が出席した、第 12 回 AD・AQ インストラクター（H22 年度）が、会を盛り上げた。



財団役員・来賓・指導者会役員



第12回！先頭この位置集まれ！



第10回（H20年度）



第11期（S61年度）



昭和 52 年度に訓練を受けた第 2 期の指導員から、平成 24 年度に研修を終えたばかりの第 14 回生までが一同に集い、熱気溢れる交流会となった。

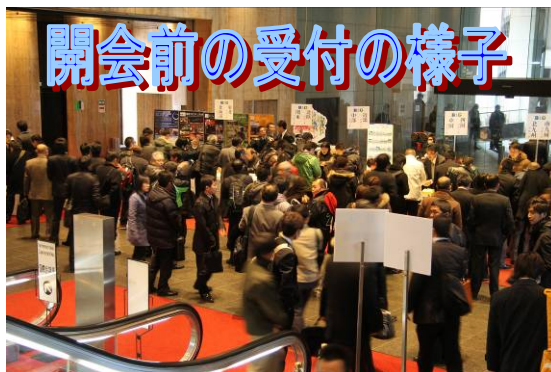
現在は、沖縄県本部町「マリンプアザ オキナワ」で行われる養成研修だが、広島県呉市（旧蒲刈町）、山口県光市、また、旧東京海洋センター（特殊育成士／AQ）で実施された期もあり、苦楽を共にした仲間や教官達と、当時を懐かしんだ。

15. その他

会場入り口の 2Fロビーでは、広報特派員写真コンテストの投票が行われた。多くの指導員が足を止め、“笑顔”をキーワードに、各自気に入った写真に投票した。



参加費授受を伴う受付では、各ブロックから多数のサポートメンバーに協力頂いた。



震災復興支援の募金活動も実施。参加者記念品としてタオルとショルダーバッグを配布。



総会開会前には、当時の懐かしい映像が流れ、思い出話に花が咲いた。



参加者所感(一部抜粋)

全般を通して

- ・褒賞を貰えるように自分も勤務していきたい。受賞された皆さんのように、指導員が認める指導員になりたい。改めて、自身の指導力を向上させていきたいと感じた。
- ・指導者会事例発表では、各ブロックの独自のプログラムを知ることが出来、今後の活動の参考になり、非常に良かった。他の指導者会との連携協力により、多様な活動が出来ると感じた。
- ・亘理町の事例発表で、住民にとって本当に必要なことを現場で寄り添って届けていく姿に、指導者として、地域の者としての有るべき姿を示して頂いた気がした。
- ・事例発表を聞いて、私たちの指導者会でも導入できる、ユニークな活動の報告をいただき、今後の活動の参考としたい。
- ・総会といっても、事例発表など指導者にとって、とても勉強になり、充実した内容でもよかった。指導者会の他のメンバーにも参加して欲しいと思った。
- ・同期に再会することにより、研修中の気持ちを思い出させてくれて、これからの活動意欲の励みになった。
- ・全国指導者会の熱い思いを感じ、連帯と絆を確認することができた。これほど全国の指導者間ネットワークがある団体はそうないと思う。今後もその一員としてがんばっていききたい。
- ・自治体直営と指定管理者との温度差を感じていた。今回、総会に参加して、B&G財団・指導者会の理念に共感し、指定管理者として、更なる活動の発展に協力していきたい。
- ・当市では、まだ指導者会を設立してないが、以前よりは、設立に向けての動きは、進んできていると思う。今回の総会の内容を現担当にも伝え、設立に向けての働きかけを強めていきたいと思う。
- ・全国の指導者たちが一堂に会する機会として、絶好のものだと思う。今後も継続してください。

実施概要

■出席者

	参加者数	前回
北海道	33	29
東北	68	68
関東	59	91
北陸	31	52
中部	90	121
近畿	38	36
中国	45	48
四国	39	44
北九州	34	43
南九州	37	37
小計	474	569
役員・職員	37	35
合計	511	604

※四国ブロックは、全市町村より出席となった。

■来賓

団体名	役職	氏名	備考
栃木県那須烏山市 B&G 全国教育長会議	教育委員会 教育長 会長	池澤 進 様	
B&G 財団	評議員	岸 ユキ 様	
B&G 財団	理事	重 由美子 様	アトランタ五輪ヨット銀メダリスト
(株)ジェイエスエス B&G 財団	スイミングアドバイザー 評議員	中村 真衣 様	シドニー五輪水泳銀メダリスト
海洋政策研究財団 B&G 財団	理事長 評議員	今 義男 様	
日本ゲートボール連合 B&G 財団	専務理事 評議員	遠藤 容弘 様	
(株)東京ビー・エム・シー B&G 財団	代表取締役社長 監事	西本 克己 様	
日本財団	常務理事	前田 晃 様	
日本財団	海洋安全・教育チーム	桑田 由紀子 様	
日本ライフセービング協会	理事	松本 貴行 様	

■運営スタッフ

- ・B&G財団役職員 37 名
- ・B&G全国指導者会 正副会長 3 名
- ・B&G全国指導者会 ブロック責任者(新任含む) 13 名
- ・B&G全国指導者会 各ブロック推薦者 20 名

※組織図は別紙参照

■指導員ゴールド褒賞

	ブロック	道府県	センター・クラブ名	評価	氏名	年齢	指導員資格
1	北海道	北海道	苫前町	特 A	宮前 伸之	41	AQ
2	東 北	宮城県	大郷町	特 A	布施谷 忠夫	52	ADAQ
3	関 東	茨城県	石岡市	特 A	白戸 重行	42	ADAQ
4		神奈川県	葉山海洋クラブ	特 A	海野 義明	57	LE
5	北 陸	富山県	富山市八尾	A	伊藤 実花	40	AQ
6	中 部	岐阜県	八百津町	特 A	赤塚 誠	45	ADAQ
7	近 畿	兵庫県	香美町香住	特 A	安田 つた江	60	AQ
8	中 国	岡山県	美作市作東	A	岡田 二郎	57	ADAQ
9	四 国	愛媛県	今治市大三島	特 A	小池 正紀	40	ADAQ
10	北九州	福岡県	みやこ町豊津	A	進 友雄	54	ADAQ
11	南九州	熊本県	湯前町	特 A	山浦 義光	60	ADAQ

■指導員シルバー褒賞

	ブロック	道府県	センター・クラブ名	評価	氏名	年齢	指導員資格
1	北海道	北海道	滝川市	特 A	湯浅 紀尚	71	LE
2	東 北	青森県	弘前市	特 A	工藤 正毅	45	ADAQ
3		秋田県	由利本荘市由利	特 A	長滝 功	54	AD
4		山形県	平田海洋クラブ	特 A	新田 薫	56	LE
5	関 東	栃木県	那須烏山市南那須	特 A	柳田 啓之	54	AQ、LE
6		埼玉県	松伏町	特 A	飛鳥馬 昇	45	ADAQ
7	北 陸	石川県	七尾市	特 A	堂谷内 司	50	ADAQ
8		石川県	かけはし海洋クラブ	A	松下 秀一	58	
9	中 部	静岡県	掛川市	特 A	永井 浩	61	IN
10		愛知県	西尾市一色	特 A	鈴木 博幸	57	AQ
11		三重県	伊賀市大山田	特 A	東 勇	77	ADAQ
12		愛知県	なごや海洋クラブ	特 A	丹羽 英夫	65	
13	近 畿	大阪府	千早赤阪村	特 A	酒見 和宏	39	ADAQ
14		兵庫県	伊丹海洋クラブ	特 A	藤田 雅義	49	
15	中 国	鳥取県	伯耆町岸本	特 A	仲田 正則	49	AD
16		島根県	雲南市加茂	特 A	毛利 智史	53	ADAQ
17		広島県	尾道市向島	A	本田 孝	58	ADAQ
18		山口県	周防大島町	特 A	中谷 清一郎	78	IN
19	四 国	愛媛県	愛南町御荘	特 A	清水 良一	43	ADAQ
20		香川県	高松市国分寺	A	鷺辺 隆宏	38	ADAQ
21		高知県	四万十町窪川	特 A	竹内 浩子	35	AQ
22	北九州	長崎県	時津町	特 A	尾道 輝寿	37	AD
23	南九州	鹿児島県	いちき串木野市	特 A	深山 龍朗	58	ADAQ
24		沖縄県	本部町	A	大城 政幸	56	ADAQ

※網掛けは財団推薦

■指導者会褒賞

	ブロック	道府県	指導者会名	登録年度
1	東北	宮城県	亘理町 B&G 海洋センター指導者会	平成22年
2	関東	千葉県	香取市 B&G 海洋センター指導者会	平成22年
3	四国	愛媛県	愛南町御荘 B&G 海洋センター指導者会	平成18年
4	南九州	鹿児島県	長島町 B&G 海洋センター指導者会	平成20年
5	南九州	鹿児島県	阿久根市 B&G 海洋センター指導者会	平成21年

※網掛けは財団推薦

■事例発表

ブロック	指導者会	氏名	発表内容
北海道	北海道新篠津村	宮田 和彦	安全啓発事業を通じた北海道ブロック広域連携体制 積丹町、新篠津村、滝川市、厚岸町、大樹町、石狩市
東北	宮城県亘理町	佐々木 利久	被災地での健康運動推進活動 仮設住宅巡回いきいき運動教室
関東	埼玉県松伏町	飛鳥馬 昇	出張 水辺の安全教室・カヌー教室 松伏町、久喜市栗橋、下野市
北陸	富山県砺波市	金平 裕	県連協との連携 「第24回マリーナフェスティバル in 砺波」
中部	三重県いなべ市	土岐 竜馬	海洋クラブとの連携事業 ヨット・カヌー教室
近畿	兵庫県南あわじ市	久留米 三四郎	地域にうねりを
中国	岡山県岡山市建部町	大谷 浩二	指導員会研修会実施
四国	愛媛県愛南町御荘	濱岡 邦之	愛南町いやしの郷トライアスロン大会 ライフセービング協会・消防等との連携
北九州	佐賀県太良町	織田 渉良	外部団体との連携 シーバードジャパン(青バイ隊)
南九州	鹿児島県長島町	脇田 高洋	カヌー長島海峡横断大会と 指導員協力体制

※詳細については、別紙参照

■取材

- ・教育家庭新聞社 企画編集部 田中 雄一郎
- ・生涯教育新聞社 代表取締役編集長 前田 耕作
- ・ “ 編集企画部 鈴木 梨彩

■新聞掲載

- ・平成25年2月18日 教育家庭新聞(別紙参照)

■参加者アンケート結果

別紙参照

第3回 B&G全国指導者会総会



平成 28 年 1 月下旬、都内にて
第3回 B&G 全国指導者会総会の
開催を予定しています。

3年後また東京で、仲間たちとの再会を果たしましょう！